競技注意事項

１．競技規則について

本大会は 2019 年度日本陸上競技連盟規則ならびに本大会申し合わせ事項に従って行う。

不正スタートは、１回目にしたものを失格とする。

２．対校の部における正選手の変更

対校の部における正選手の変更は、前日の代表者会議でのみ行う。

３．召集

・召集は召集所にて行う。召集所は、100m スタート後方ゲート付近に設ける。

・召集開始時刻、召集終了時刻は、すべて競技開始時刻を基準に以下のように定める。

	召集開始時刻	召集終了時刻
トラック種目	30 分前	20 分前
跳躍種目	40 分前	30 分前
棒高跳	50 分前	40 分前
投擲種目	40 分前	30 分前

４．リレー競技

・リレーのオーダー用紙は本部にあるリレーオーダー用紙に記入し、競技開始１時間前までに競技者係に提出すること。

・リレーに出場する選手のユニホームはチームで同一のものを使用すること。

５．フィールド種目の試技

・フィールド種目の対校の部については試技数を 6 回とし、前半 3 回の試技で有効試技が一つもない競技者は後半の試技を認めない。オープンの部については 3 回とする。

・走高跳、棒高跳のバーの上げ方、ならびに三段跳の踏切り板の位置については、前日の代表者会議において決定する。

６．競技用器具

・用器具は原則として競技場のものを使用すること。ただし、ポール・やりについては各自で持ち込んだものの使用を認めるが、やりに関しては審判の検定を受けること。検定の時間は競技開始１時間前までとする。

・競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは 9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳、やり投では 12mm以下のものを使用すること。

７．対校得点は、１位 4 点、2 位 3 点、3 位 2 点、4 位 1 点とする。ただしリレーは、1 位 4 点、2 位 1 点とする。

８．ナンバーカードについて

・北海道大学は 100 番台、東北大学は 200 番台とする。登録が 100 名を超える場合は、それぞれ 1000 番台、2000 番台を使用すること。また、男子選手は黒字の、女子選手は赤字のゼッケンを使用すること。

・他大学の学生、高校生の出場者については、各自で割り当てられた番号を用意すること。

・3000m 以上の競技に出場する者は、通しナンバーカードを使用すること。(召集の際に競技者係より配布される。)　レース終了後は、速やかに回収すること。

・走高跳、棒高跳については、背・胸のいずれか一方でよい。

９．棄権について

・競技者の棄権については原則として、前日の代表者会議でのみ受け付ける。

・当日やむなく棄権する場合には、棄権届け(受付にて用意)を漏れなく記入し、本部と召集所(競技者係)まで１部ずつ提出すること。

１０．抗議について(競技規定第 146 条参照)

協議進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、またはその代理人より、結果が正式発表(アナウンス)されてから 30 分以内に、担当総務員を通じて口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定に不服がある場合には、上訴申立書と預託金 1 万円を添えて上訴審判員に上告することができる。

１１．陸上競技場使用上の注意

・当該種目競技者以外は、競技エリアへの立ち入りは禁止する。

・周回競技中はバックストレートの 5 レーンから 8 レーンを練習場所として使用してよい。

１２．その他

・大会期間中、競技者は大会本部前の通行を禁止する。